

石川県難病医療提供体制整備事業 石川なんびょう診療連携室「ランプ」第2回研修会
たいせつな いのちと暮らしを守る in能登
～今、わたしにもできる災害対策～

日 時 2026年3月15日(日) 10:00～15:00

【受付9:30～】

場 所 珠洲商工会議所 2階大ホール

(〒927-1214 珠洲市飯田町1-1-9 TEL 0768-82-1115)

開催方法 会場・WEB配信(オンデマンド配信も受付けます)

対象者 地域住民の皆さん・難病などで在宅療養中の患者や家族
災害対策に関心のある方

プログラム

開会の挨拶

石川県難病医療連絡協議会 会長
国立病院機構医王病院 名誉院長

駒井 清暢

I 部

(10:05～10:35)

病気を持つ人の視点から災害を「予防」する

その時どうする? それまでにどうする?

富山大学脳神経内科 中根 俊成先生

II 部

(10:40～12:00)

講話とワークショップ

こころと身体 の健康を守る快適な避難環境の作り方

北良株式会社 笠井 健氏

<実際に機器に触れて、体験してみよう>

電源(発電機・ポータブル電源)・トイレ・手洗い・寝床
遠隔コミュニケーション「窓」の試用体験等

III 部

(13:30～15:00)

～女性のための防災士講座～防災士について学ぼう

特定非営利活動法人 石川県防災士会

閉会の挨拶

公社日本医療ソーシャルワーカー協会
珠洲市災害支援現地責任者

福井 康江

参加申込先:締め切り3月9日(月)

下記のURLまたはQRコードにてお申込みください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScYfojAKMVXM_cUmdQE4ai5AJxU-Ykmipugyt_zDaWmrUeQ/viewform?usp=publish-editor

※会場にお越しになる方は、
当日の受付でも可能です。
※オンデマンド配信をご希望の方
もこちらでお申込みください。



参加費無料

問い合わせ

□金沢市岩出町273-1 国立病院機構 医王病院
石川なんびょう診療連携室「ランプ」

難病コーディネーター 杉森 千代子

ソーシャルワーカー 中本 富美

電話 080-2610-5277

メール 303lamp.ishikawa@mail.hosp.go.jp

□公社日本医療ソーシャルワーカー協会

珠洲市災害支援現地責任者 福井 康江

電話 090-1836-4401

主催: 石川県・石川なんびょう診療連携室「ランプ」

共催: いしかわ医療的ケア児支援センター「このこの」・公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会

後援: 珠洲市

《研修会の開催にあたって》

国立病院機構医王病院 名誉院長 駒井清暢

令和6年能登半島地震から2年が経ち、地域には確かに復興の槌音が響いていますが、まだまだ復興の道半ばとも感じます。今回、私たち一人ひとりが地域再生の担い手として、もう一度災害への備えを見直す機会にしたいと考えて研修会を企画しました。この研修会に集って声を掛け合うことも大切な目的ですので、多くの方のご参加をお待ちいたしております。

講師のご紹介

【氏名】

中根 俊成(なかね しゅんや)

【現職】

富山大学 脳神経内科(准教授)

【経歴】

1994年3月 香川大学医学部医学科卒業

1994年4月 長崎大学 第一内科

2001年7月 米国メイヨー・クリニック 神経内科・免疫学

2004年8月 徳島大学 神経内科

2008年4月 国立病院機構長崎川棚医療センター 神経内科・臨床研究部

2015年4月 熊本大学大学院 神経内科学分野

2021年4月 日本医科大学 脳神経内科

2023年4月 富山大学 脳神経内科

【所属学会】

日本神経学会(災害対策委員), 日本神経免疫学会, 日本神経感染症学会, 日本神経治療学会など

【受賞】

2014年9月 第26回日本神経免疫学会賞受賞

2021年10月 日本自律神経学会 学会賞



【氏名】

笠井 健(かさい けん)

【所属・役職】

北良株式会社 代表取締役社長

【略歴】

1974年岩手県北上市生まれ。筑波大学情報学類卒。

東日本大震災で被災した医療機関や在宅医療患者の災害支援を経験し、

「災害に強い社会を創る」をテーマに「医療と防災のヒトづくり・モノづくりプロジェクト」を推進。

様々な被災地への支援を通じて様々な防災システム・機器の開発、人材の育成を行い、災害に強い地域づくりを自治体と協力して進めている。

2024年の能登半島地震では1月3日に岩手県から陸路で移動し、1月4日に珠洲市に入る。

1月6日に緑丘中学校で水循環型シャワーWOTA BOXと手洗いWOSHを最初に設置。その後、

WOTA株式会社と協力して能登半島の被災地で市町と連携しシャワー、手洗いの設置など

衛生面での災害支援を行うとともに、珠洲市飯田高校のウエイトリフティング部を支援するクラウドファンディングを立ち上げ、インターハイ出場まで活動費の支援を行った。同年9月の能登豪雨では珠洲市や輪島市に支援物資を届ける活動を行った。

【役職・活動】

一般社団法人 日本産業・医療ガス協会 理事

いわてチルドレンズヘルスケア連絡会議 委員(災害対策班)

文部科学省 SBIRフェーズ3 防災分野 有識者委員

